



# 自衛隊埼玉地方協力本部

JAPAN SELF DEFENSE FORCES SAITAMA PROVINCIAL COOPERATION OFFICE

## 定期演奏会会場で募集広報活動

埼玉地方協力本部朝霞地域事務所（所長 澤谷 3 陸佐）は、十二月五日、和光市の市民文化センターサンアゼリア大ホールにて東部方面音楽隊が実施した第七十五回定期演奏会の入場口付近に募集広報ブースを展開して、来場者への自衛隊の魅力等について募集広報活動を行った。

新型コロナウイルス感染症の拡大も落ち着きつつあり、当日は、招待者及び一般公募者並びに関係者等が多く来場され、入場前後の時間帯は、埼玉地本ブースにも足を運ばれる方も少なくはなかった。

埼玉地本の募集広報ブース内では、来訪者への自衛隊の魅力発信と知人等を含む適齢者への橋渡し等に繋がるように丁寧に案内・質疑応答に心掛けた。特に、次年度の各種受験資格や日程等の説明とパンフレット配布を行った。

埼玉地本は、今後もあらゆる場面で募集活動の好機と捉え、積極的な働きかけや企画等の創造と実行により、募集基盤の強化等への努力を継続していく。



## 小学校の総合的な学習の時間への協力

埼玉地方協力本部朝霞地域事務所（所長 澤谷 3 陸佐）は、十二月十日、埼玉県三郷市にある瑞木小学校において、第六学年児童七十一名の総合的な学習の時間協力を行った。

本協力は、学校側の依頼に基づき長年継続しているものであり、「命に関わる仕事」について、防衛省（三自衛隊）の役割や大切さを伝え命に関わる仕事の一端を理解させるものである。

当日は、DVD上映を全員で視聴した後、装備品装着体験・ミニ制服試着・南極の氷展示説明等を順次体験した。制服試着では陸・海・空を全て試着した生徒が多く、互いに「似合うね！次は海の白を着たい！」と楽しく体験して頂けた。記念撮影では力メラに満面の笑顔を向けていた。

今回のような担当地域の学校等からの地本への要望は積極的に可能な限り対応することによって、児童の成長はもとより、関係教諭や地域住民等の理解獲得・促進を図ることができる。

埼玉地本は、今後も自衛隊への理解促進等への活動・協力・支援等に積極的に取り組んでいきたい。

